



新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査報告書

概要版

本調査は、高齢者が住み慣れた地域の中でその人らしく安心して心豊かに暮らし続けることができるよう、区民の健康や日ごろの健康状態、介護保険サービスの利用状況や利用意向及びケアマネジャーや介護保険サービス事業所の実態を把握し、令和6年度を初年度とする「新宿区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」策定のための基礎資料とする。

【調査概要】

○調査の種類：調査にあたっては次の6種類の調査を実施した。

調査名	調査対象	調査対象数	有効回収数	有効回収率	WEB回答割合
①一般高齢者+介護予防 ・日常生活圏域ニーズ調査	要介護認定を受けていない 65歳以上の高齢者	4,000人	2,651人	66.3%	(87人) 3.3%
②要支援・要介護認定者調査	要支援・要介護認定を受けている 65歳以上の高齢者	1,500人	948人	63.2%	(12人) 1.3%
③第2号被保険者調査	要支援・要介護認定を受けていない 第2号被保険者(40～64歳)	1,500人	582人	38.8%	(120人) 20.6%
④ケアマネジャー調査	区内の居宅介護支援事業所に勤務する ケアマネジャー	190人	144人	75.8%	(14人) 9.7%
⑤介護保険サービス事業所調査	区内の介護保険サービス事業所	297所	160所	53.9%	(32所) 20.0%
⑥在宅介護実態調査	区内で在宅生活をしている 要支援・要介護認定者	637人	637人	100%	—

○調査方法：郵送による発送・回収(礼状兼督促はがきを1回発送)及びWEB回答併用(①から⑤)、ケアマネジャーによる聞き取り(⑥)

○調査期間：①から③ 令和4年10月5日(水)から10月26日(水)まで

④及び⑤ 令和4年10月3日(月)から10月24日(月)まで

⑥ 令和4年6月23日(木)から12月27日(火)まで

【概要版の見方】

○「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示している。

○百分率による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を100%として算出し、本文及び図表の数字は、すべて小数点第2位以下を四捨五入、小数点第1位までを表記しているため、すべての割合の合計が100%にならないことがある。また、複数回答の設問では、すべての割合の合計が100%を超えることがある。

○見出しの表記(一般)：一般高齢者+介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、(認定者)：要支援・要介護認定者調査、(第2号)：第2号被保険者調査、(ケアマネ)：ケアマネジャー調査、(事業所)：介護保険サービス事業所調査、(在宅)：在宅介護実態調査。

○前回調査比較は、令和元年に実施した調査と比較をしており、グラフの凡例に調査名を記している。

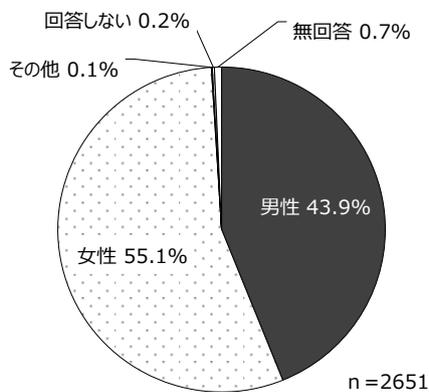
令和6年度を初年度とする「高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定に向けて、主に以下の視点から調査結果を抽出し、整理しました。

- ・現計画における重点施策である「健康づくりと介護予防の推進による健康寿命の延伸」、「地域で支え合うしくみづくりの推進」、「認知症高齢者への支援体制の充実」
- ・現計画の施策ごとの達成状況を把握するために設定した指標（「介護予防に関心のある高齢者の割合」、「地域活動参加者の割合」など）※《指標》と表示
- ・介護保険事業計画に係る介護保険のサービス等への区民意識
- ・現計画に内包する「新宿区成年後見制度利用促進基本計画」における成年後見制度の認知度
- ・令和4年度調査で新設した設問（「通信機器の利用状況等」、「ACP（人生会議）」）

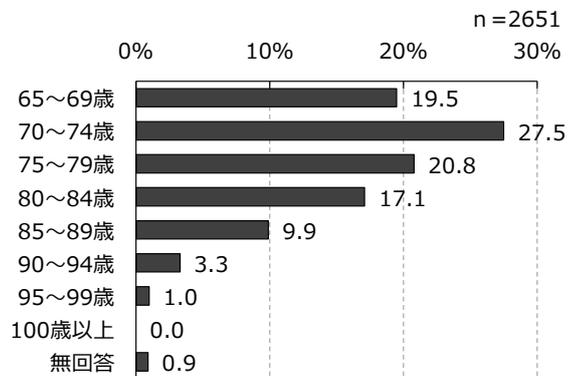
回答者の属性

■一般高齢者

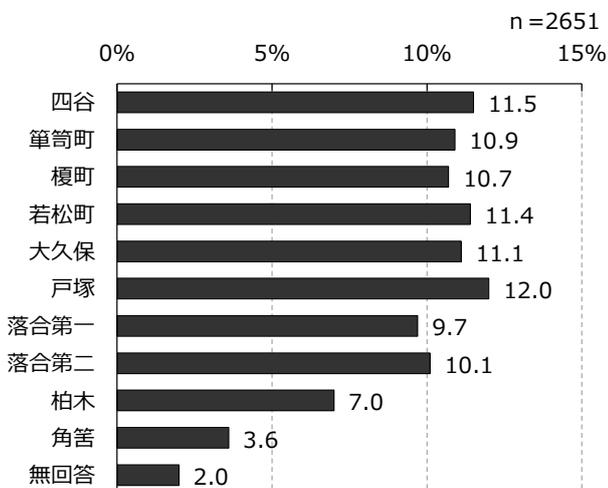
【図表1】性別



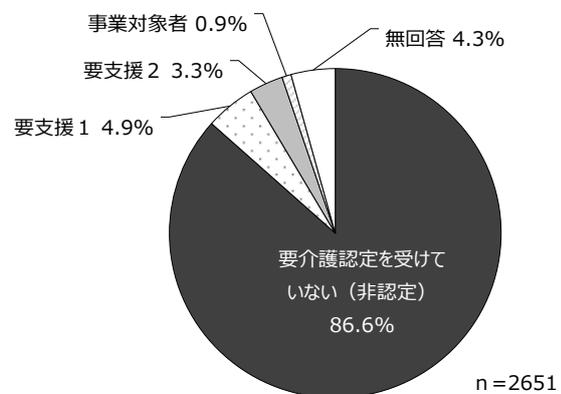
【図表2】年齢



【図表3】居住地域

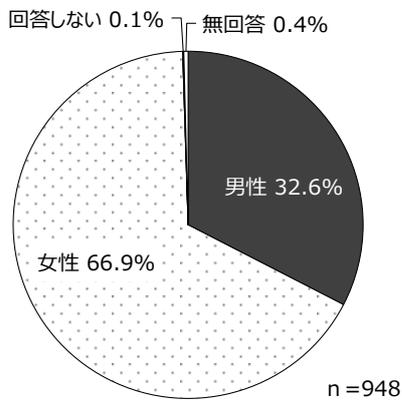


【図表4】要介護状態

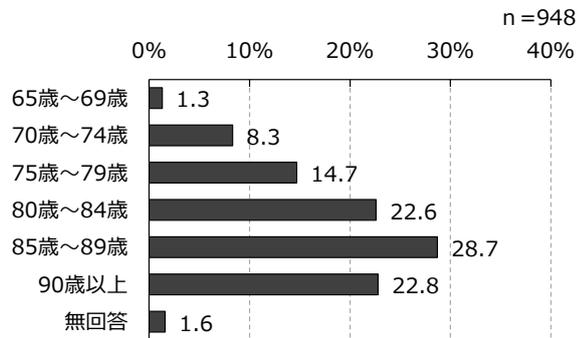


■要支援・要介護認定者調査

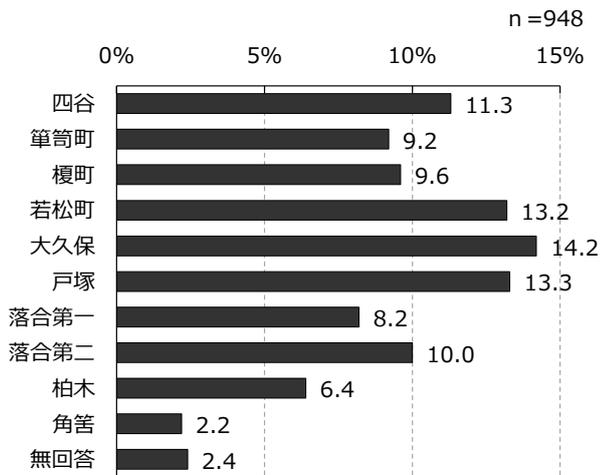
【図表 5】性別



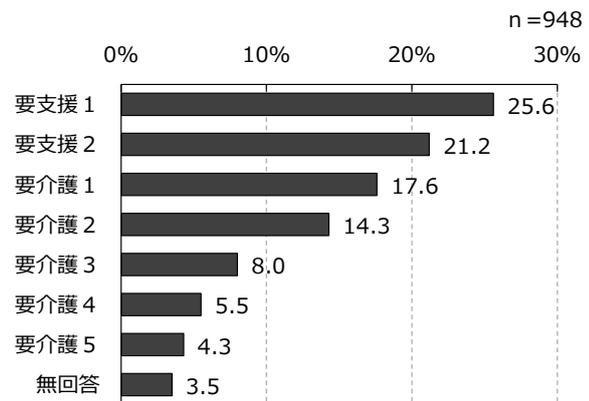
【図表 6】年齢



【図表 7】居住地域

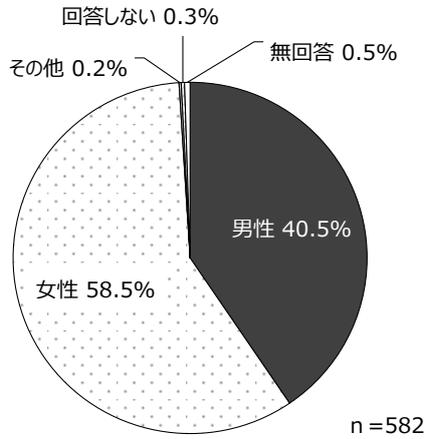


【図表 8】要介護状態

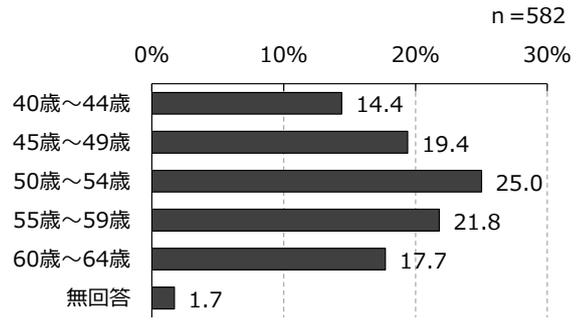


■第2号被保険者調査

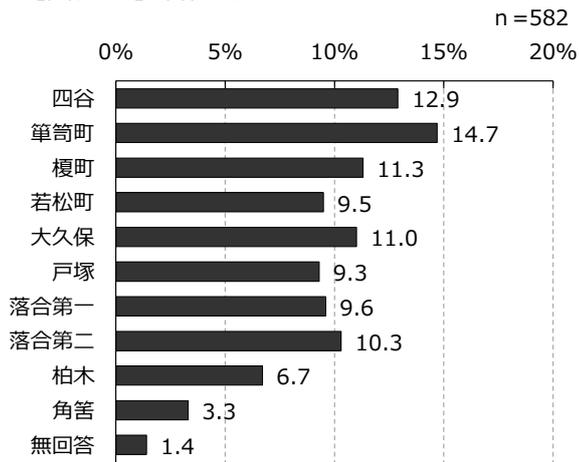
【図表9】性別



【図表10】年齢



【図表11】居住地域

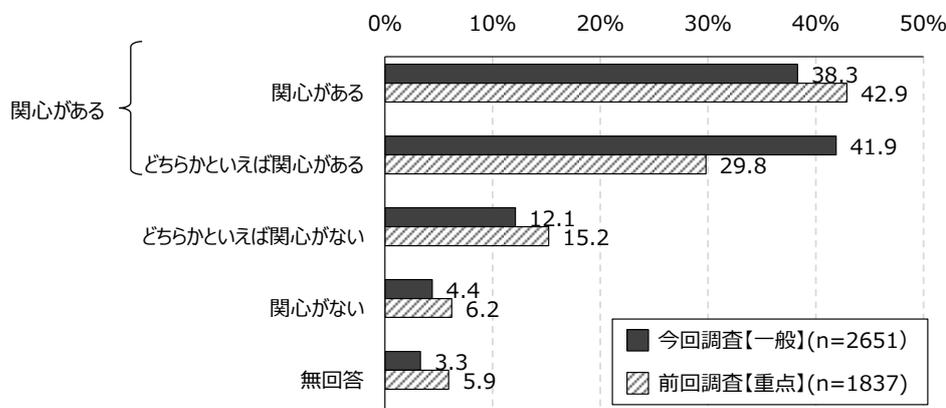


(1) 重点施策「健康づくりと介護予防の推進による健康寿命の延伸」

問 あなたは、「介護予防」について関心がありますか。《指標》(一般)問 51

介護予防についての関心は、「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”は 80.2%となっており、前回調査と比べて 7.5 ポイント高くなっている。

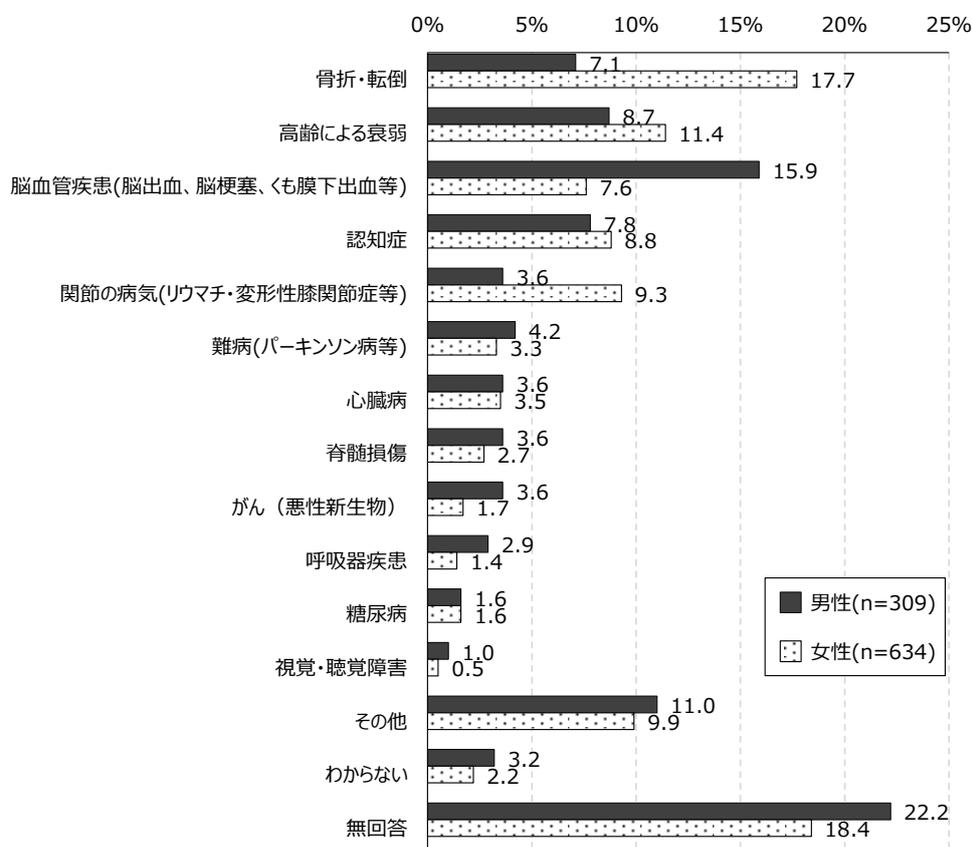
【図表 12】 介護予防への関心の有無 (前回比較)



問 あなたが、介護を必要とするようになった主な原因は、次のうちどれですか。(認定者)問 5

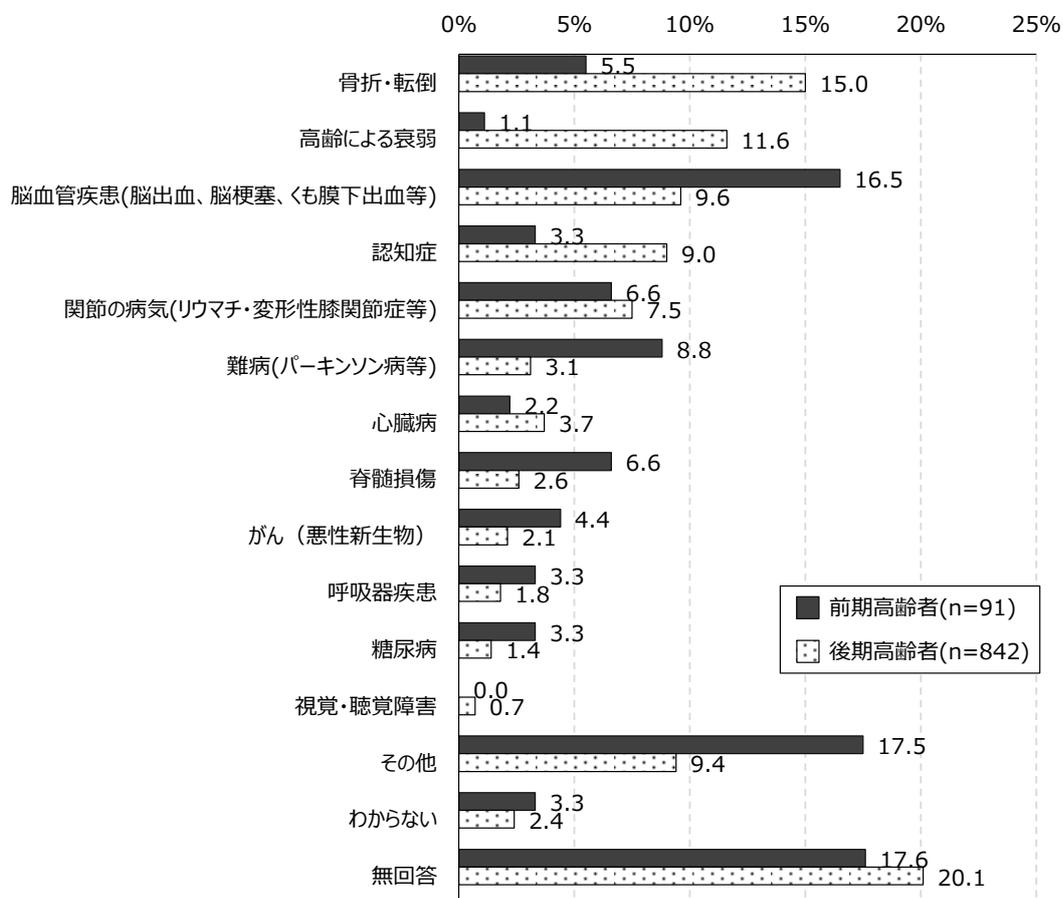
介護が必要になった主な原因について性別にみると、男性は「脳血管疾患(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血等)」が 15.9%で最も多く、女性は「骨折・転倒」が 17.7%で最も多くなっている。

【図表 13】 介護が必要になった主な原因 (性別)



介護が必要になった主な原因について年齢別にみると、前期高齢者は「脳血管疾患(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血等)」が16.5%で最も多く、後期高齢者は「骨折・転倒」が15.0%で最も多くなっている。

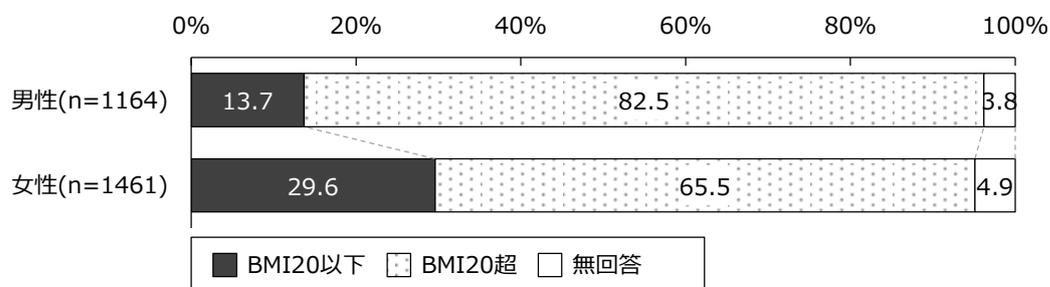
【図表 14】 介護が必要になった主な原因〈年齢別〉



問 身長・体重を教えてください。(一般)問 17

身長と体重から算出される BMI について性別にみると、低栄養傾向と考えられる「BMI20 以下」は男性では 13.7%、女性では 29.6%となっている。

【図表 15】 BMI (低栄養傾向 BMI ≤ 20)

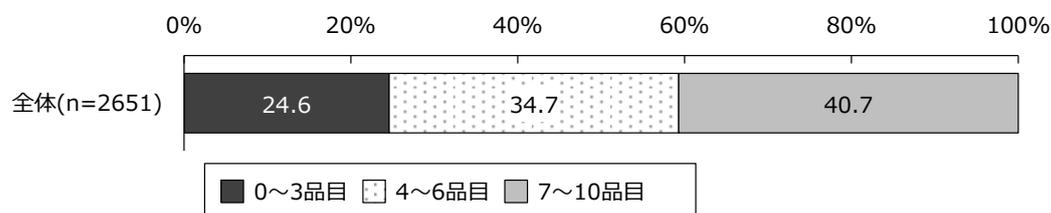


※BMI は体重 (kg) ÷ 身長 (m) × 身長 (m) で算出される体重 (体格) の指標である。

問 最近一週間のうち、ほぼ毎日食べている食品に○をしてください。(一般)問 24

最近一週間に、ほぼ毎日食べている食品の数は、「7～10品目」が40.7%となっている。

【図表 16】 最近一週間に、ほぼ毎日食べている食品数



問 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(一般)問 18

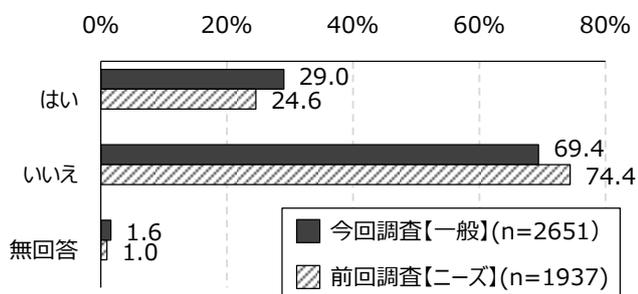
問 お茶や汁物等でむせることがありますか。(一般)問 19

問 口の渇きが気になりますか。(一般)問 20

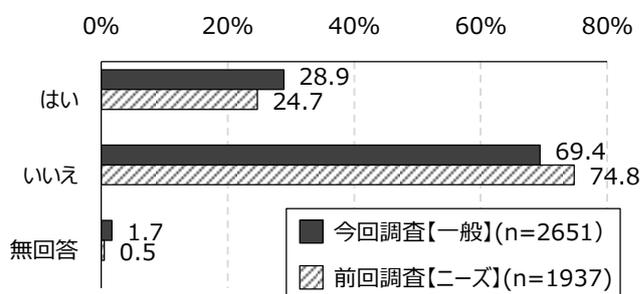
口腔機能について「はい」は、半年前に比べて固いものが食べにくくなったかでは29.0%、お茶や汁物等でむせることがあるかでは、28.9%、口の渇きが気になるかでは、29.3%となっている。「はい」のポイントはいずれも前回調査と比較して高くなっている。

【図表 17】 口腔機能について〈前回比較〉

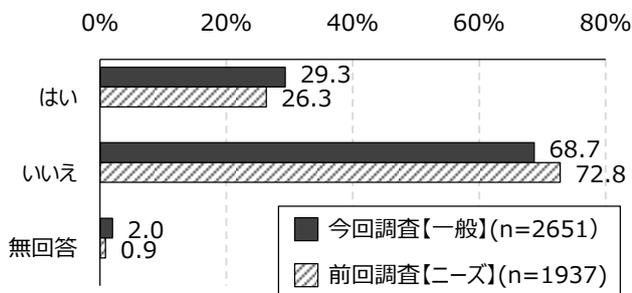
問 18 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



問 19 お茶や汁物等でむせることがありますか



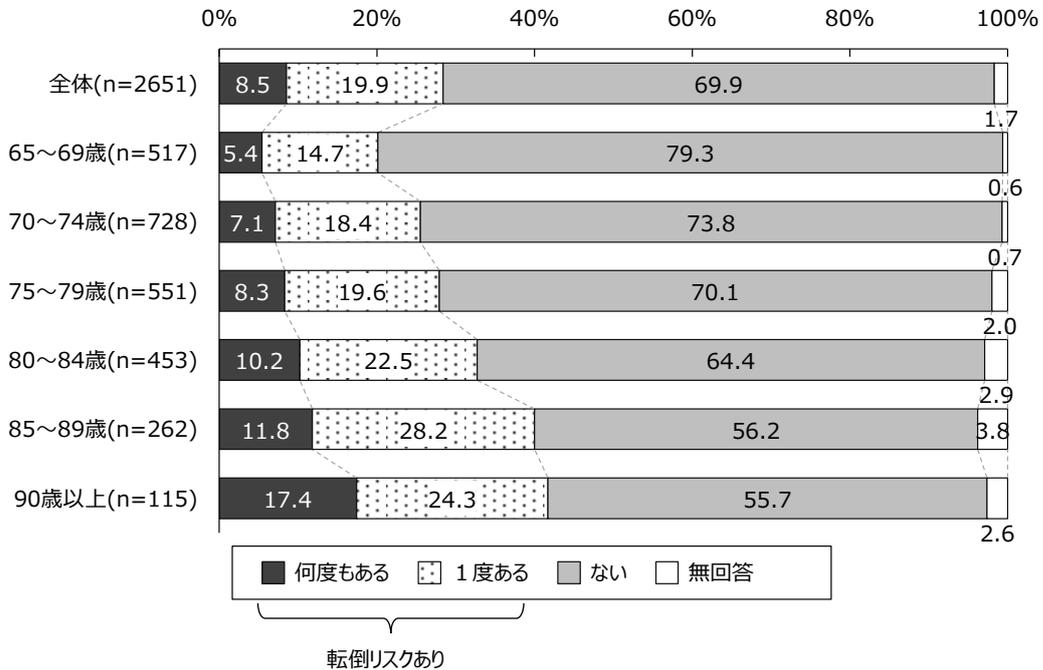
問 20 口の渇きが気になりますか



問 過去1年間に転んだ経験がありますか。(一般)問12

過去1年間に転んだ経験について、年齢別にみると年齢が高くなるにつれて「何度もある」と「1度ある」を合わせた“転倒リスクあり”の割合が高くなっている。

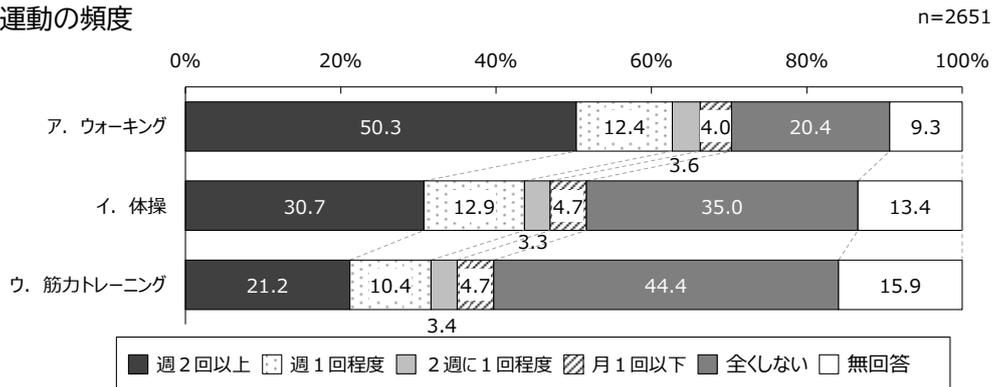
【図表18】過去1年間に転んだ経験〈年齢別〉



問 あなたは以下の運動をそれぞれどのくらいの頻度でしていますか。(一般)問16

運動の頻度については、ウォーキングは、「週2回以上」が50.3%、体操は、「週2回以上」が30.7%、筋力トレーニングは、「週2回以上」が21.2%となっている。

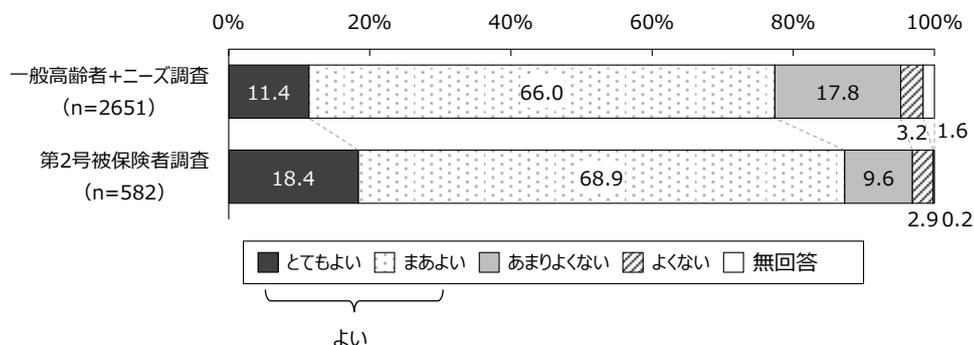
【図表19】運動の頻度



問 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(一般)問 45、(第2号)問 13

現在の健康状態について、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた“よい”が一般高齢者で 77.4%、第2号被保険者で 87.3%と多数を占めている。

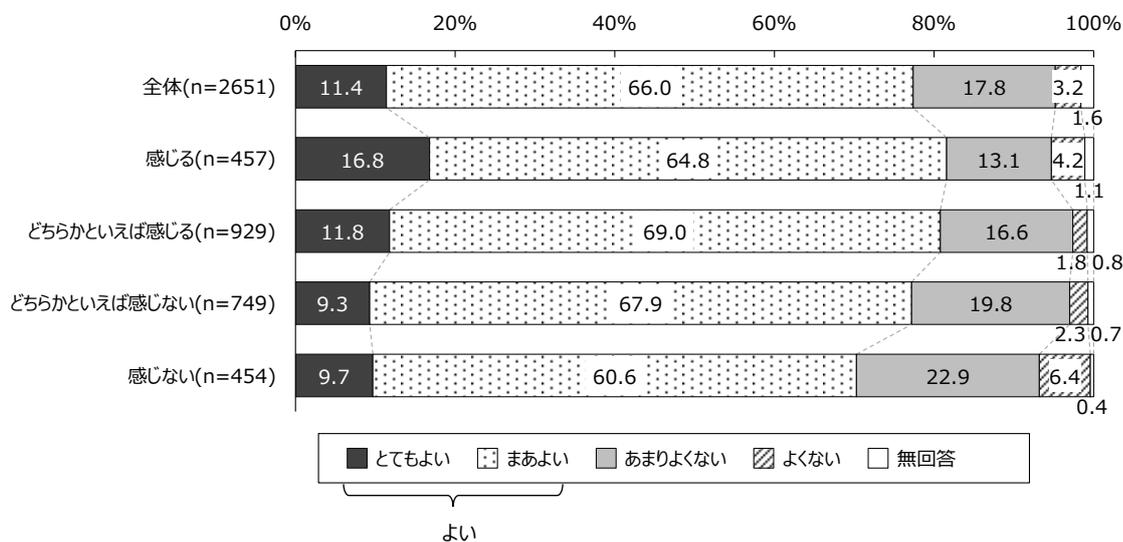
【図表 20】現在の健康状態



■現在の健康状態<地域のつながり実感別>

現在の健康状態を地域のつながり実感別にみると、地域のつながりを感じるほど健康状態が“よい”と回答する割合が高くなっている。

【図表 21】現在の健康状態 <問 42(2)地域のつながり実感別>



(2) 重点施策「地域で支え合うしくみづくりの推進」

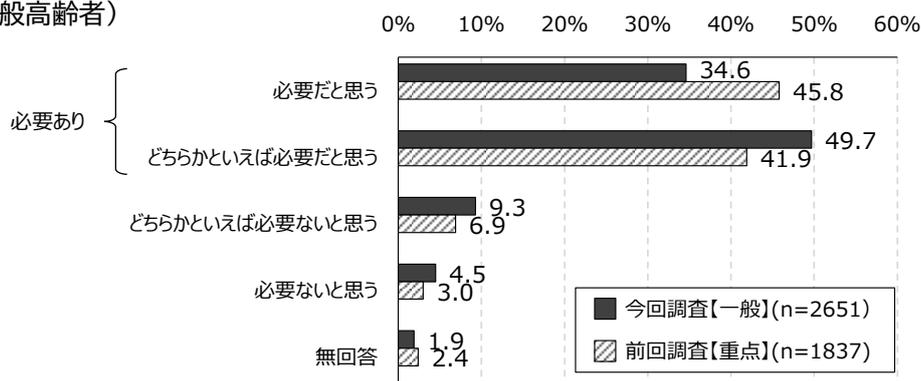
問 あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)についておたずねします。

(1)地域のつながりの必要性(一般)問 42、(認定者)問 13、(第2号)問 10

地域のつながりの必要性について、「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」を合わせた“必要あり”がいずれも8割を超えている。しかし、「必要だと思う」に限って前回調査と比較すると一般高齢者、要支援・要介護認定者で10ポイント以上低くなっている。

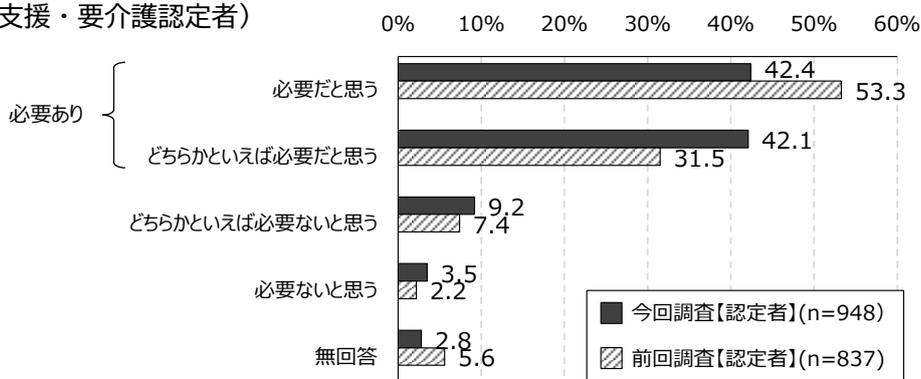
【図表 22】地域のつながりの必要性〈前回比較〉

(一般高齢者)



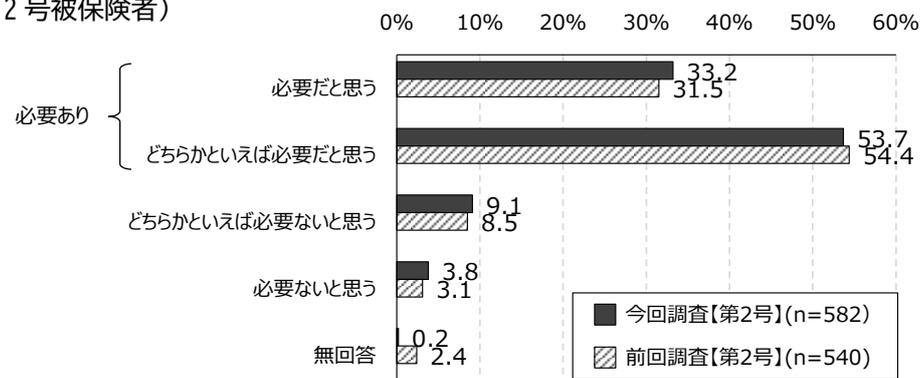
【図表 23】地域のつながりの必要性〈前回比較〉

(要支援・要介護認定者)



【図表 24】地域のつながりの必要性〈前回比較〉

(第2号被保険者)

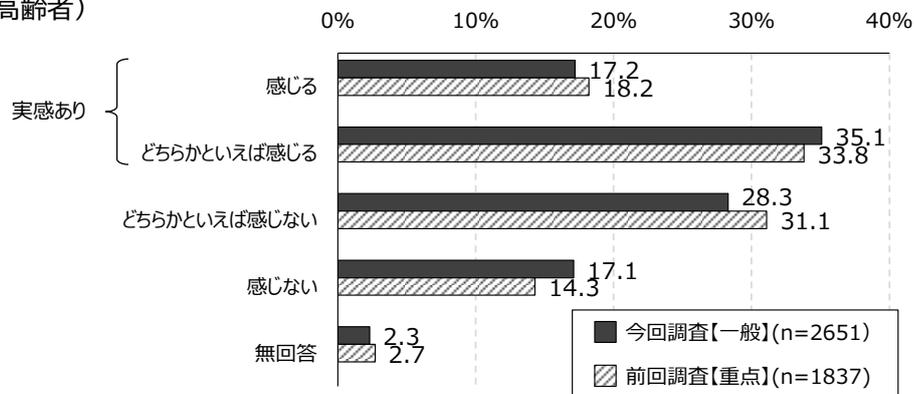


(2)地域のつながりの実感<指標><一般>問 42、(認定者)問 13、(第2号)問 10

地域のつながりの実感について、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた“実感あり”が一般高齢者、要支援・要介護認定者では5割を超えているが、第2号被保険者では約3割となっている。前回調査と比較するといずれも「どちらかといえば感じる」が高くなっている。

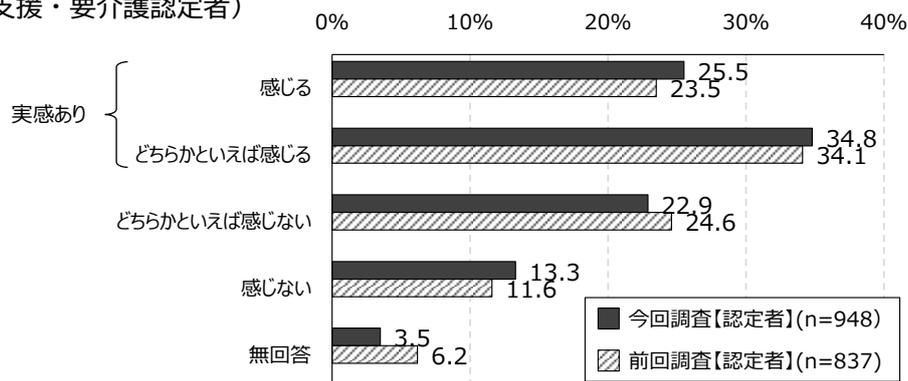
【図表 25】地域のつながりの実感<前回比較>

(一般高齢者)



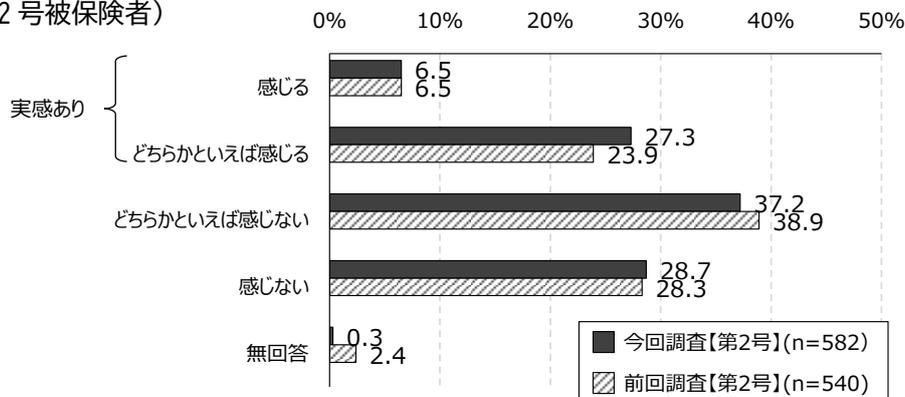
【図表 26】地域のつながりの実感<前回比較>

(要支援・要介護認定者)



【図表 27】地域のつながりの実感<前回比較>

(第2号被保険者)

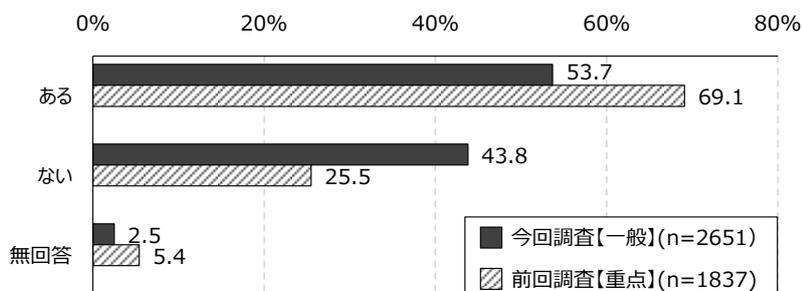


(3) 重点施策「認知症高齢者への支援体制の充実」

問 あなたは今までに、自身や家族等が認知症になったときのことについて、考えたことがありますか。(一般)問 63

自身や家族等が認知症になったときのことについて、「ある」は53.7%、「ない」は43.8%。前回調査と比較して、「ある」が15.4ポイント低く、「ない」が18.3ポイント高くなっている。

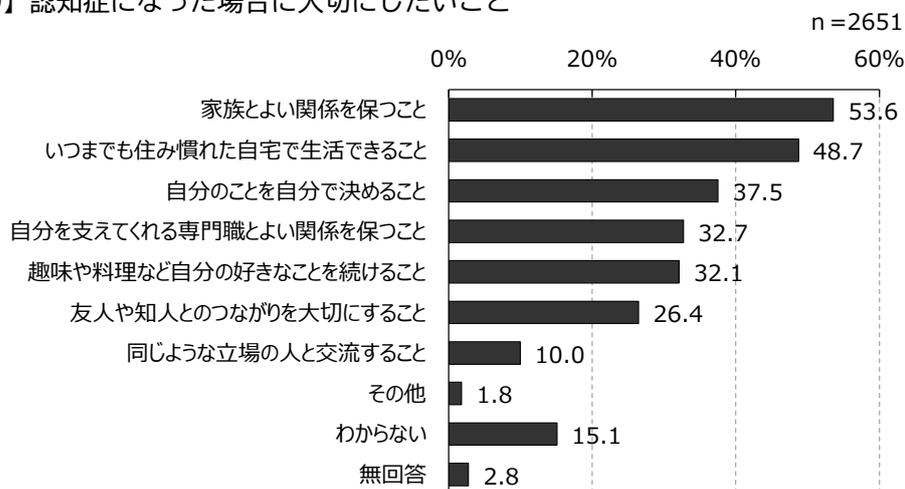
【図表 28】自身や家族が認知症になったときのことについて、考えたことの有無〈前回比較〉



問 もしあなたが認知症になった場合、大切にしたいことは何ですか。(一般)問 65

認知症になっても大切にしたいことについて、「家族とよい関係を保つこと」が53.6%で最も高くなっている。

【図表 29】認知症になった場合に大切にしたいこと



(4) 地域活動参加者の割合

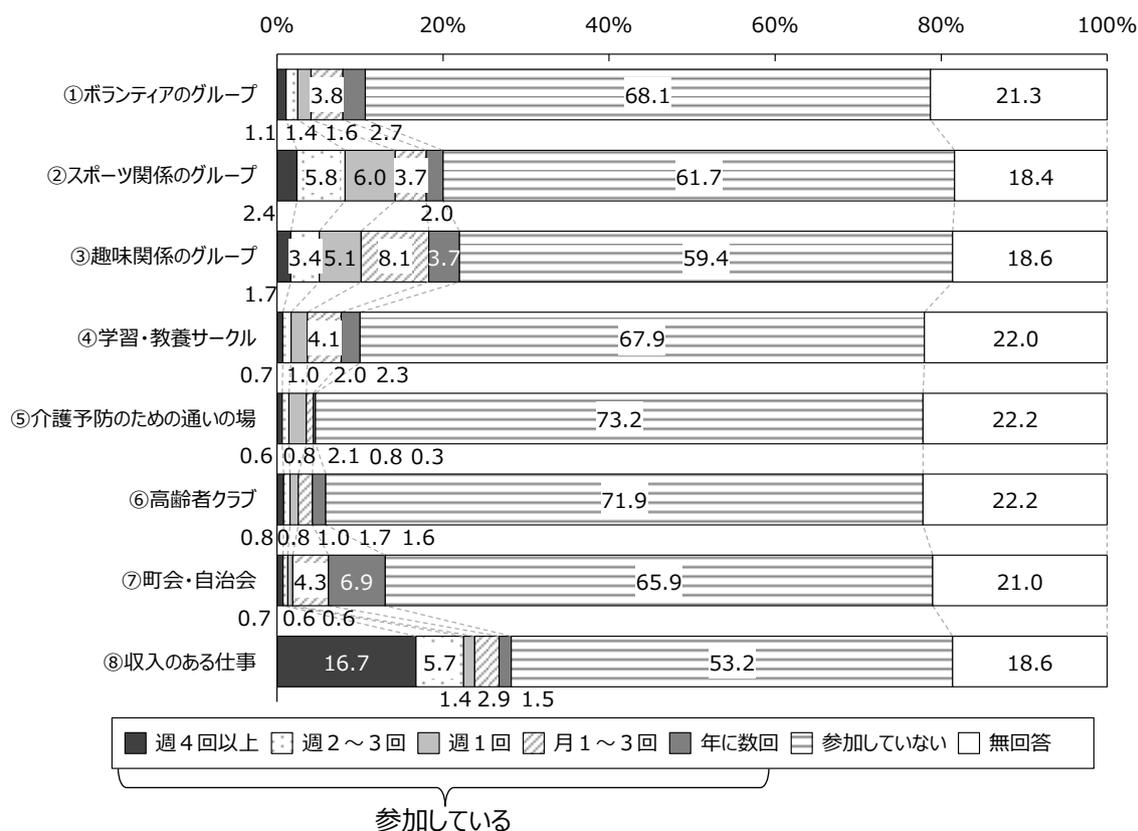
問 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(一般)問 34

会・グループ等への参加頻度については、すべての会・グループ等で「参加していない」との回答が最も多くなっている。

「週4日以上」から「年に数回」までを合わせた“参加している”は①ボランティアのグループで10.6%、②スポーツ関係のグループで19.9%、③趣味関係のグループで22.0%、④学習・教養サークルで10.1%、⑤介護予防のための通いの場*で4.6%、⑥高齢者クラブで5.9%、⑦町会・自治会で13.1%、⑧収入のある仕事で28.2%となっている。

【図表 30】 会・グループへの参加頻度

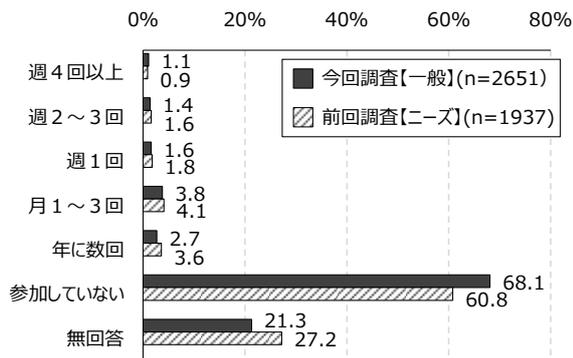
n=2651



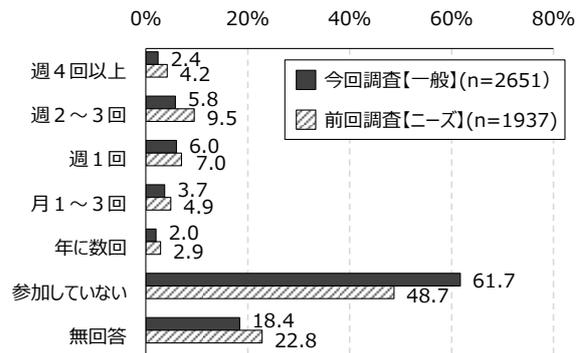
※通いの場：高齢者の身近な場所で介護予防のために活動する「新宿いきいき体操」、「しんじゅく100トレに取り組むグループ」、「通所型住民主体サービスグループ」、「地域安心カフェ」、「ふれあい・いきいきサロン」などを指します。

【図表 31】会・グループへの参加頻度〈前回比較〉

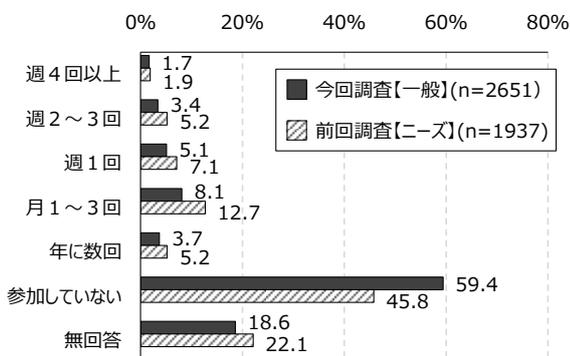
① ボランティアのグループ



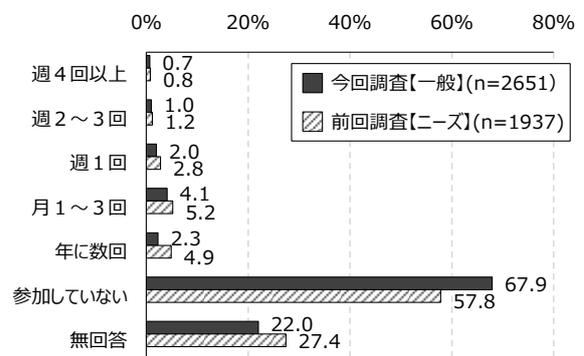
② スポーツ関係のグループ



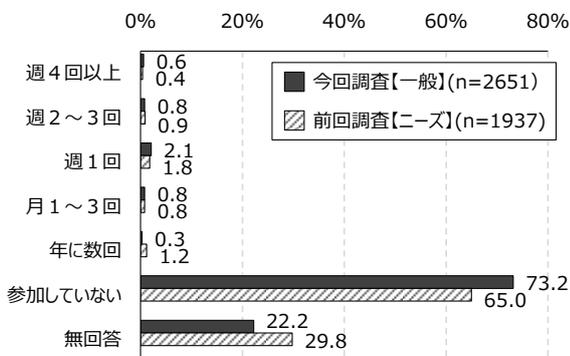
③ 趣味関係のグループ



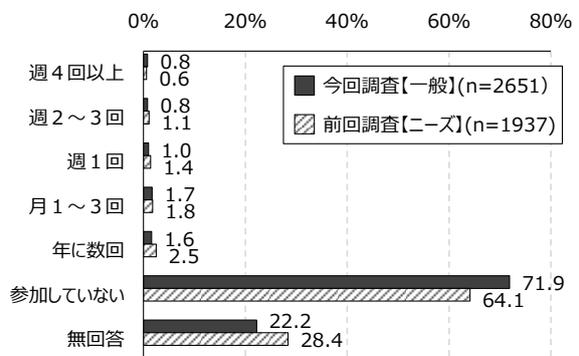
④ 学習・教養サークル



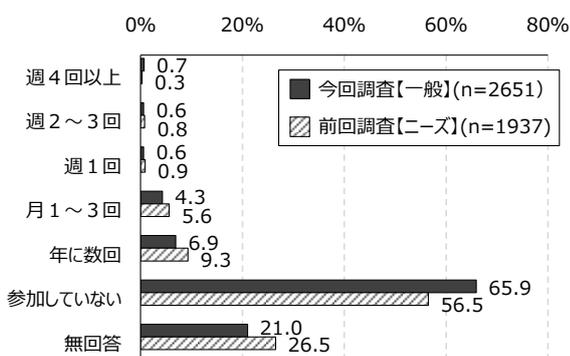
⑤ 介護予防のための通いの場



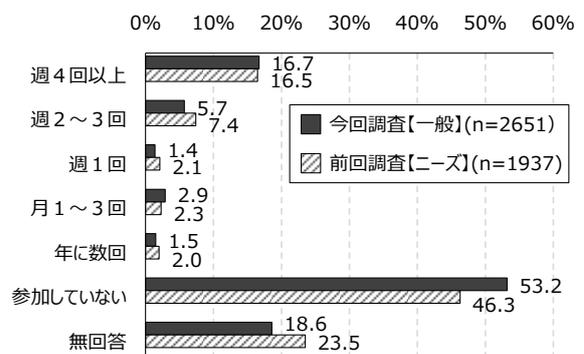
⑥ 高齢者クラブ



⑦ 町会・自治会



⑧ 収入のある仕事



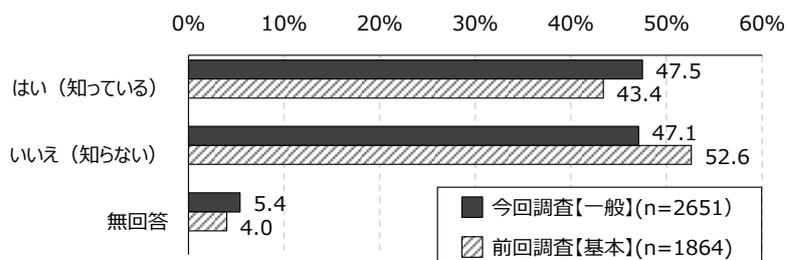
(5) 高齢者総合相談センターの認知度

問 あなたは、「高齢者総合相談センター」の名称を知っていますか。《指標》

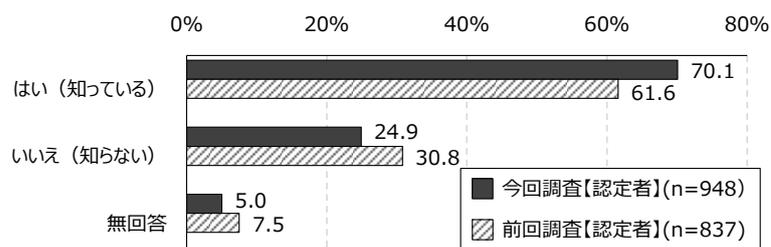
(一般)問 70、(認定者)問 27、(第2号)問 28

「高齢者総合相談センター」の名称の認知度について、前回調査と比較して、いずれも「はい(知っている)」が約4~8ポイント高くなっている。

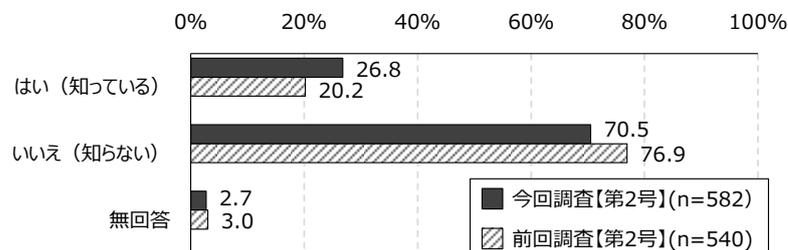
【図表 32】 高齢者総合相談センターの名称の認知度〈前回比較〉
(一般高齢者)



【図表 33】 高齢者総合相談センターの名称の認知度〈前回比較〉
(要支援・要介護認定者)



【図表 34】 高齢者総合相談センターの名称の認知度〈前回比較〉
(第2号被保険者)

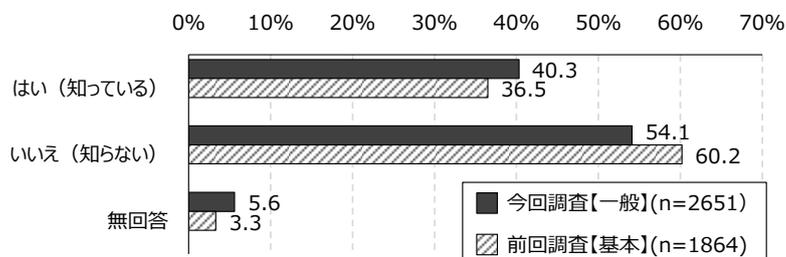


問 あなたは、「高齢者総合相談センター」が何をする機関か知っていますか。《指標》

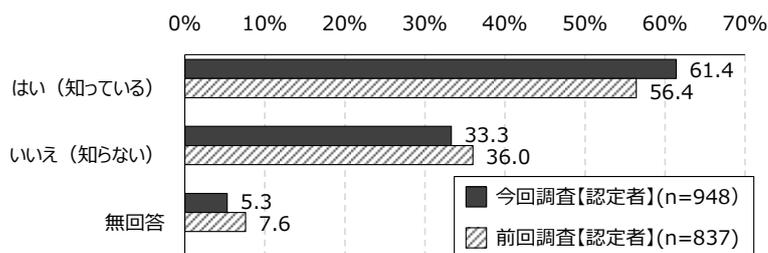
(一般)問 71、(認定者)問 28、(第2号)問 29

「高齢者総合相談センター」の機能の認知度について、前回調査と比較して、いずれも「はい(知っている)」が約3~5ポイント高くなっている。

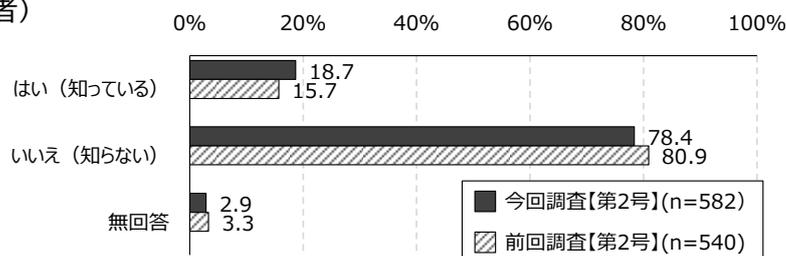
【図表 35】 高齢者総合相談センターの機能の認知度〈前回比較〉
(一般高齢者)



【図表 36】 高齢者総合相談センターの機能の認知度〈前回比較〉
(要支援・要介護認定者)



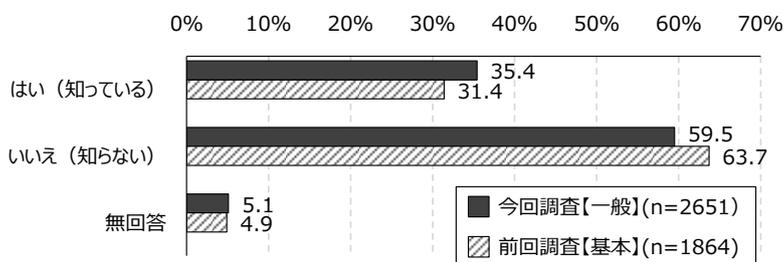
【図表 37】 高齢者総合相談センターの機能の認知度〈前回比較〉
(第2号被保険者)



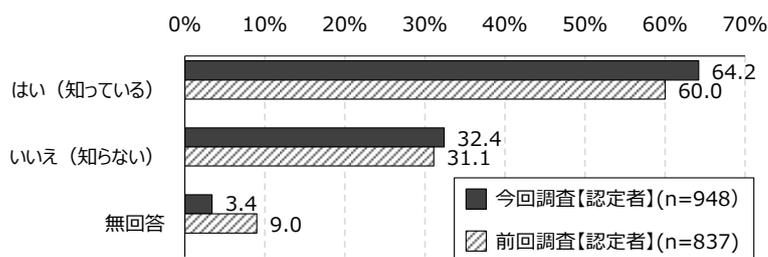
問 あなたは、あなたのお住まいの地域を担当する「高齢者総合相談センター」がどこにあるか知っていますか。《指標》(一般)問 72、(認定者)問 29、(第 2 号)問 30

「高齢者総合相談センター」の所在地の認知度について、前回調査と比較して、一般高齢者、要支援・要介護認定者で「はい（知っている）」が約 4 ポイント高くなっている。

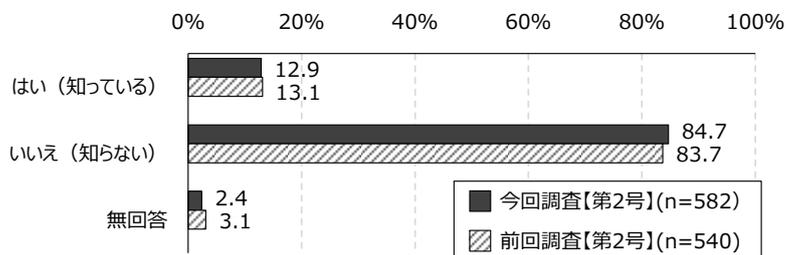
【図表 38】 高齢者総合相談センターの所在地の認知度（前回比較）
（一般高齢者）



【図表 39】 高齢者総合相談センターの所在地の認知度（前回比較）
（要支援・要介護認定者）



【図表 40】 高齢者総合相談センターの所在地の認知度（前回比較）
（第 2 号被保険者）



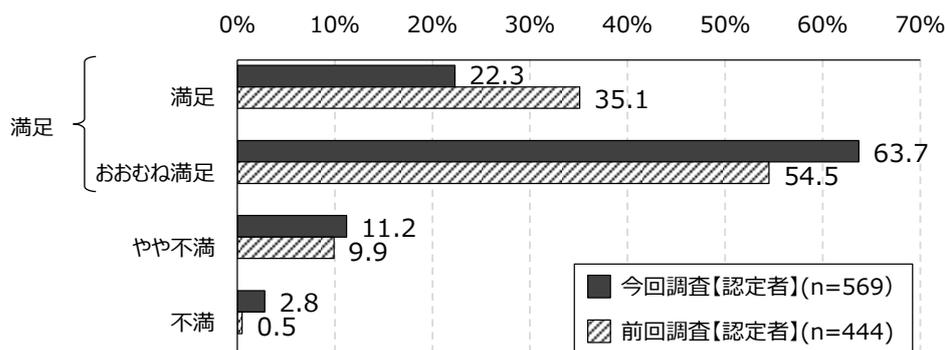
(6) 介護保険サービスの総合的な利用満足度

問 介護保険サービスの総合的な満足度は、次のうちどれですか。《指標》(認定者)問 31-2(3)

<介護保険サービスの総合的な満足度(無回答を除いた集計)>

介護保険サービスの総合的な満足度について、無回答を除いた「満足」と「おおむね満足」を合わせた“満足”は86.0%となっており、前回調査と比較して3.6ポイント低くなっている。

【図表 41】 介護保険サービスの総合的な満足度（無回答を除いた集計）〈前回比較〉

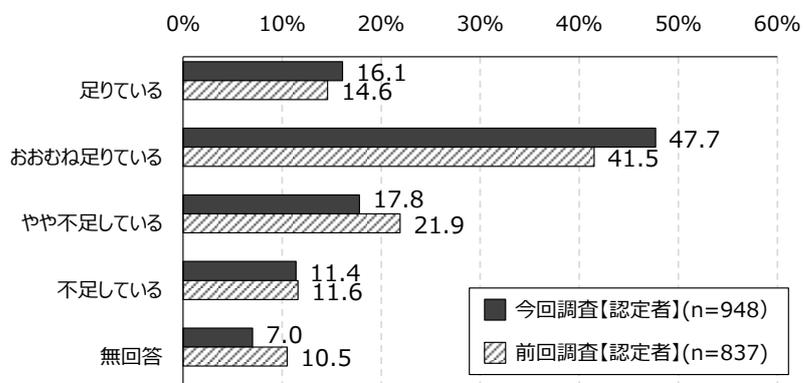


(7) 健康や福祉サービスに関する情報量の充実度

問 あなたの入手している健康や福祉サービスに関する情報量は足りていると思いますか。《指標》(認定者)問 30(2)

入手している健康や福祉サービスに関する情報量の充足度について、「おおむね足りている」が47.7%で最も高く、前回調査と比較して、6.2ポイント高くなっている。

【図表 42】 健康や福祉サービスに関する情報量の充足度〈前回比較〉



(8) 在宅療養について

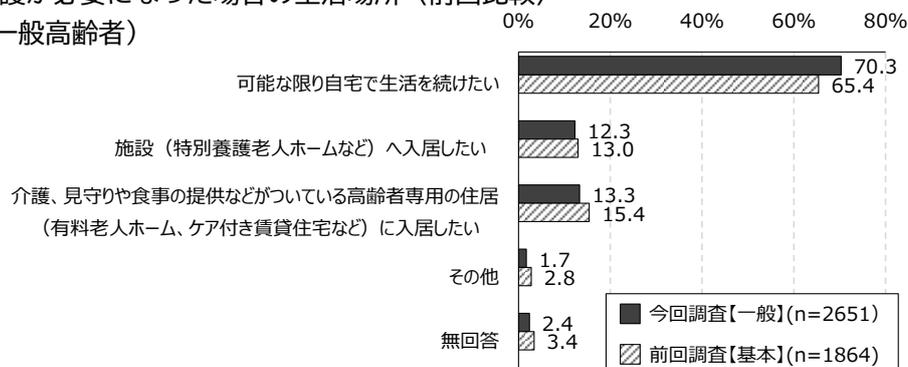
問 あなたは、介護が必要になった場合、どこで生活を続けたいと思いますか。

(一般)問 55、(第2号)問 21

介護が必要になった場合の生活場所について、一般高齢者、第2号被保険者で「可能な限り自宅で生活を続けたい」が最も高く、前回調査と比較しても同様の傾向となっている。

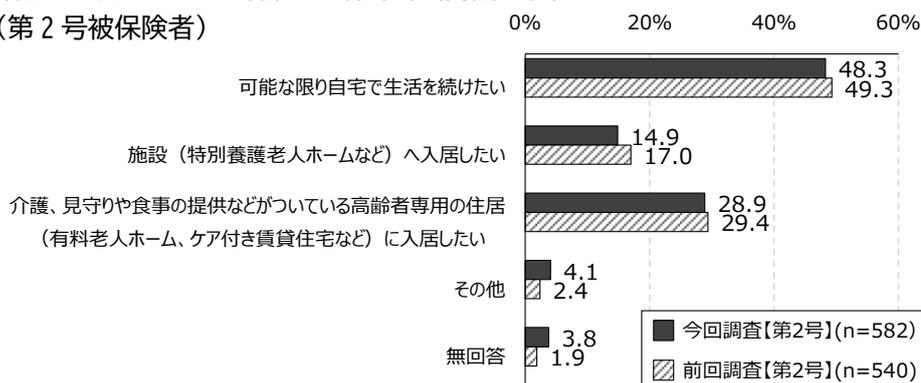
【図表 43】 介護が必要になった場合の生活場所〈前回比較〉

(一般高齢者)



【図表 44】 介護が必要になった場合の生活場所〈前回比較〉

(第2号被保険者)

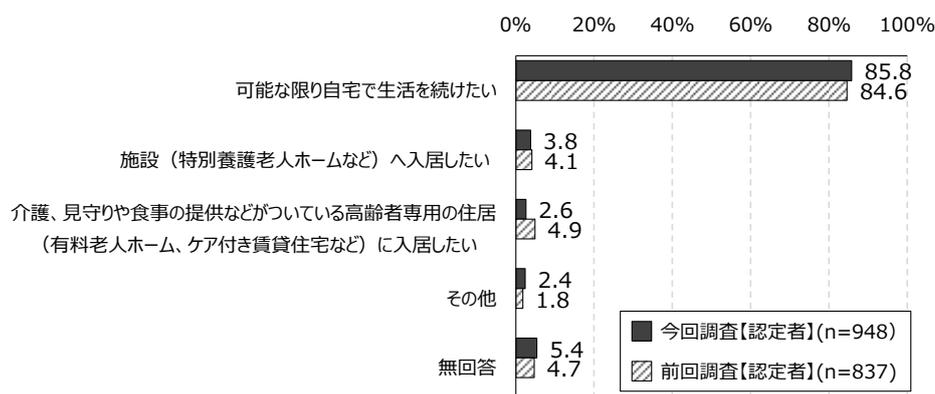


問 あなたは、これからも今のお住まい(自宅等)で生活を続けたいと思いますか。

(認定者)問 20

これからも今の住まいで生活を続けたいと思うかについて、要支援・要介護認定者で「可能な限り自宅で生活を続けたい」が85.8%と多数を占めており、前回調査と比較しても同様の傾向となっている。

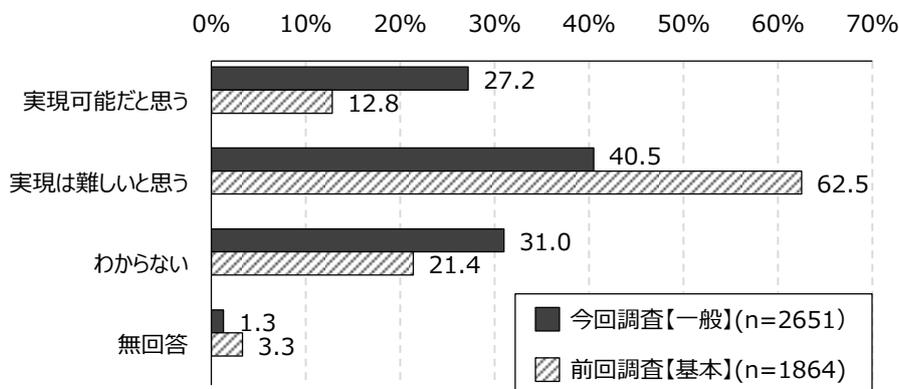
【図表 45】 今の住まいで生活を続けたいと思うか〈前回比較〉



問 ご自宅での療養は実現可能だと思いますか。《指標》(一般)問 56

自宅での療養は実現可能だと思うかについて、「実現可能だと思う」は 27.2%となっており、前回調査と比較して、14.4 ポイント高くなっている。

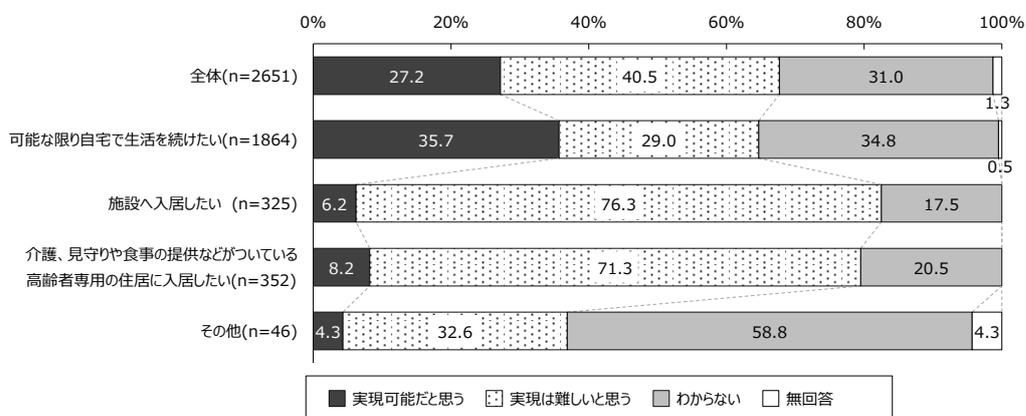
【図表 46】在宅療養の可能性〈前回比較〉



■在宅療養の可能性〈介護が必要になった場合の生活場所別〉

在宅療養の可能性を希望の生活場所別にみると、「可能な限り自宅で生活を続けたい」と回答した人のうち、「実現可能だと思う」は 35.7%となっている。

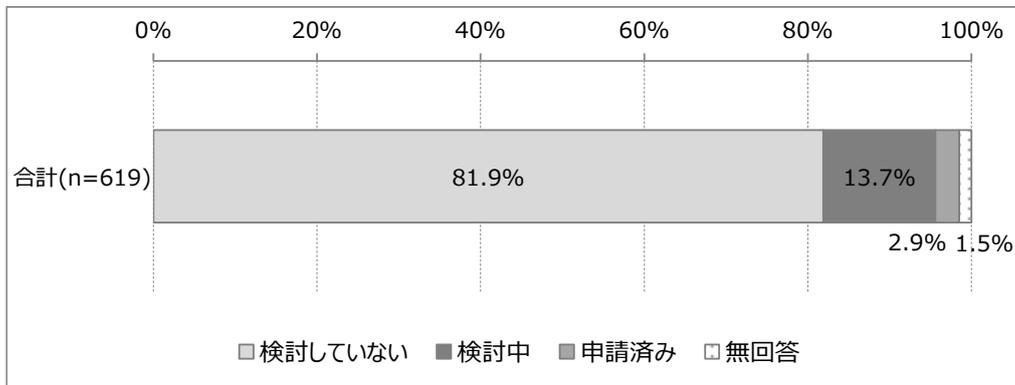
【図表 47】在宅療養の可能性〈問 55 介護が必要になった場合の生活場所別〉



問 現時点で施設等への入所・入居は検討しているか(在宅)問 6

施設等検討の状況について、「検討していない」が81.9%で最も高くなっている。

【図表 48】施設等検討の状況



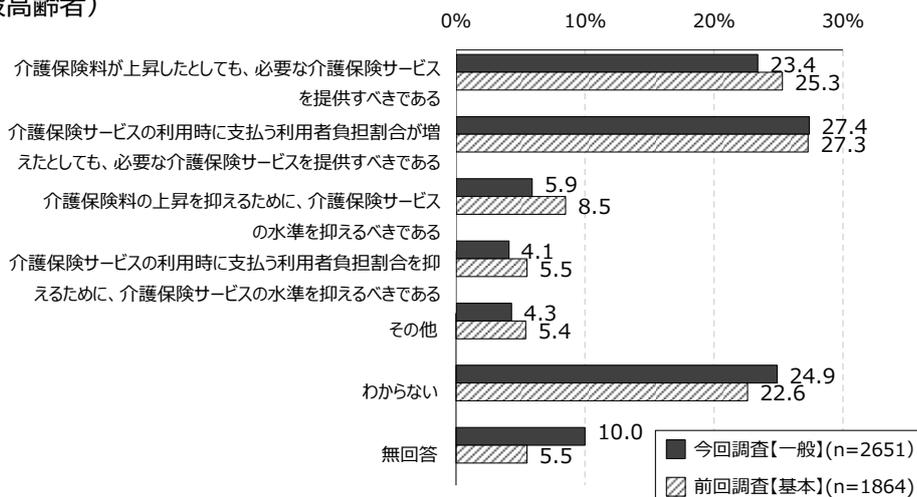
(9) 介護保険サービスについて

問 今後、高齢者の増加に伴い、サービスにかかる費用も増大することが予想されます。介護保険のサービスと費用負担について、あなたのお考えに最も近いものは、次のうちどれですか。

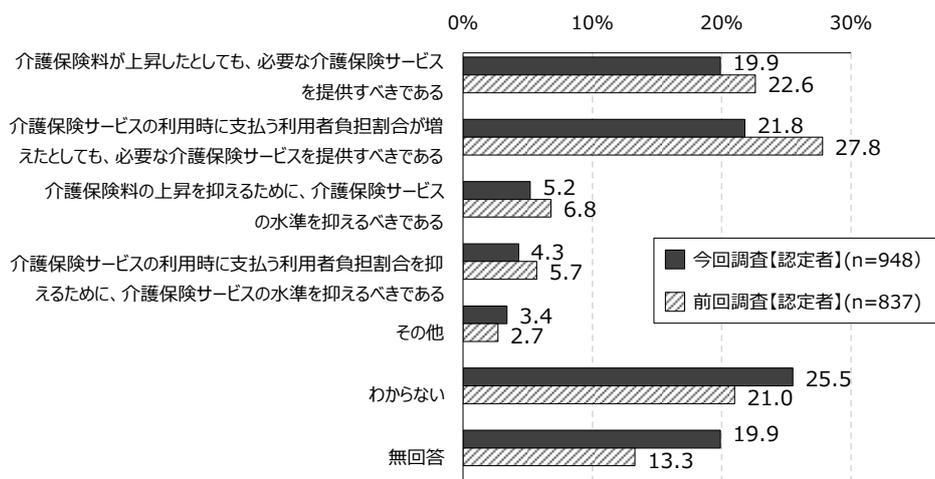
(一般)問 74、(認定者)問 33、(第 2 号)問 33

介護保険サービスと費用負担について、いずれも前回調査と比較して「介護保険料が上昇したとしても、必要な介護保険サービスを提供すべきである」が低くなっている。

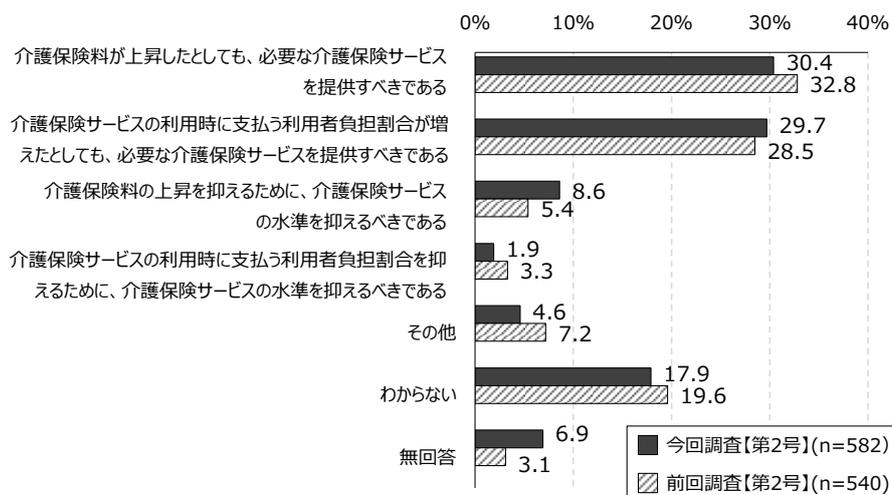
【図表 49】介護保険サービスと費用負担〈前回比較〉
(一般高齢者)



【図表 50】 介護保険サービスと費用負担 〈前回比較〉
 (要支援・要介護認定者)



【図表 51】 介護保険サービスと費用負担 〈前回比較〉
 (第2号被保険者)



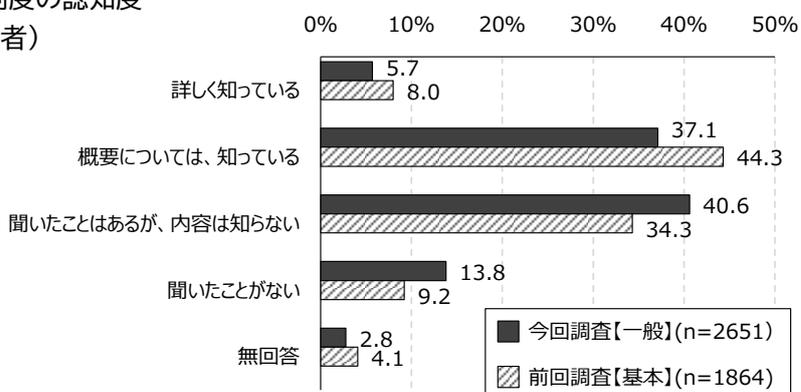
(10) 高齢者の権利擁護

問 あなたは、成年後見制度を知っていますか。

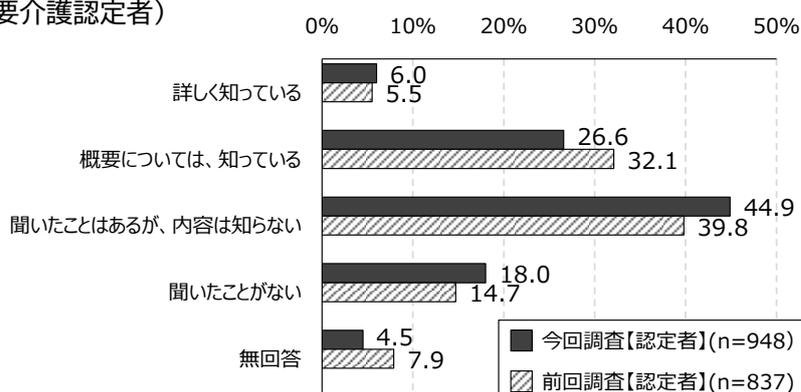
(一般)問 68、(認定者)問 25、(第2号)問 26

成年後見制度の認知度について、一般高齢者、要支援・要介護認定者で「聞いたことはあるが、内容は知らない」が最も高く、前回調査と比較して5~6ポイント高くなっている。

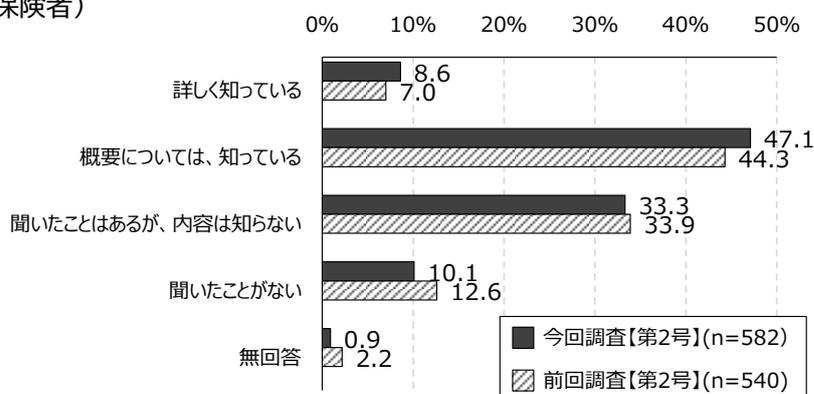
【図表 52】 成年後見制度の認知度
(一般高齢者)



【図表 53】 成年後見制度の認知度
(要支援・要介護認定者)



【図表 54】 成年後見制度の認知度
(第2号被保険者)



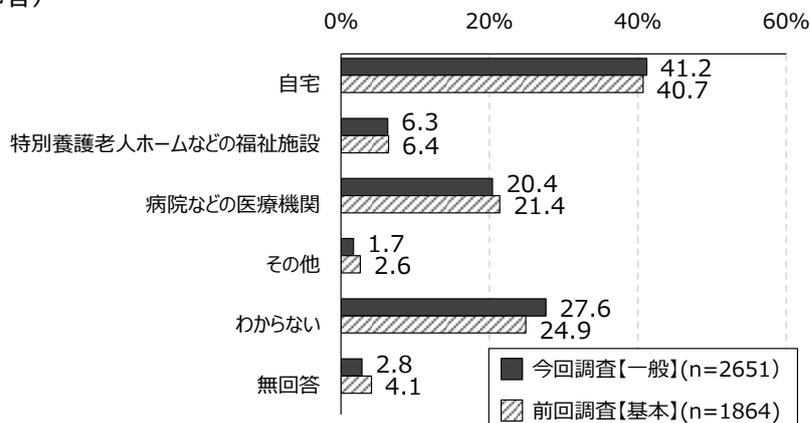
(11) ACP（人生会議）

問 あなたは、ご自身の最期をどこで迎えたいと思いますか。

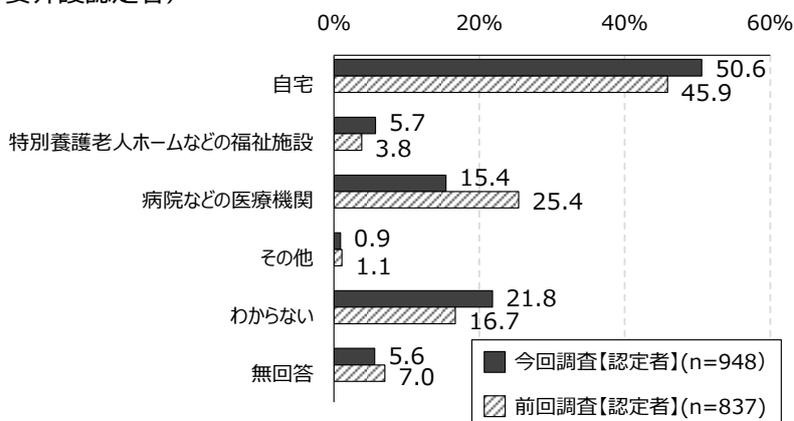
(一般)問 57、(認定者)問 21、(第2号)問 22

自身が最期を迎えたい場所について、一般高齢者、要支援・要介護認定者で「自宅」が最も高くなっているが、第2号被保険者では「わからない」が最も高くなっている。

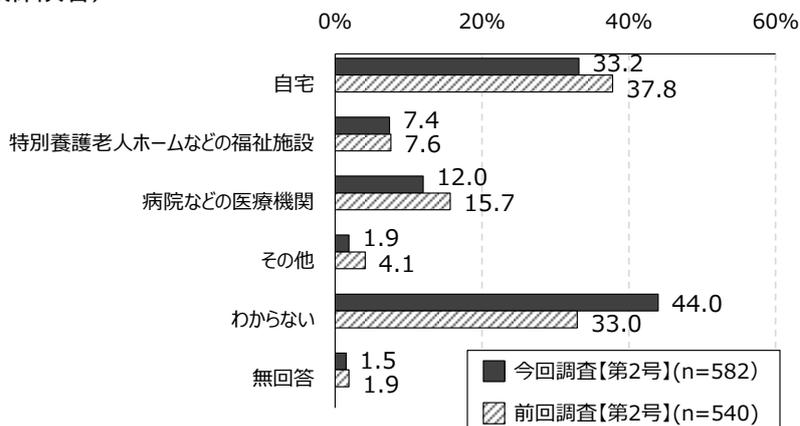
【図表 55】 最期を迎えたい場所
(一般高齢者)



【図表 56】 最期を迎えたい場所
(要支援・要介護認定者)



【図表 57】 最期を迎えたい場所
(第2号被保険者)

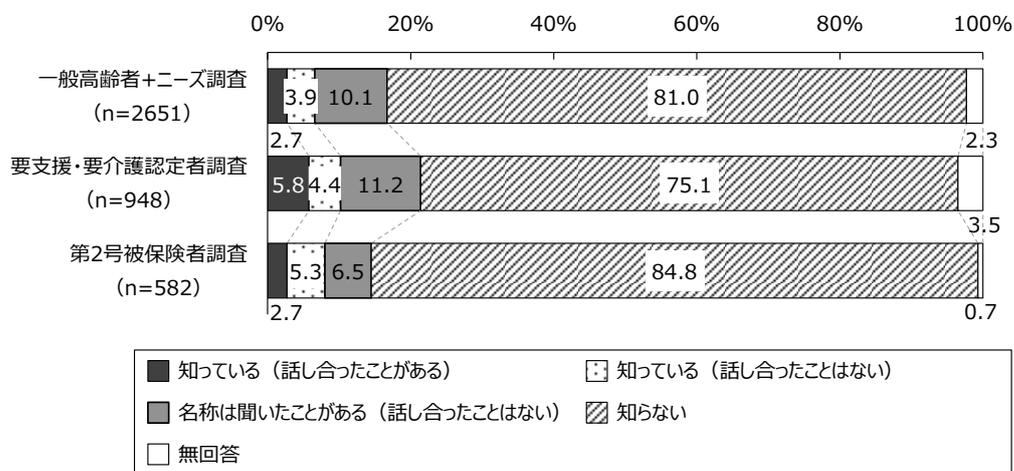


問 あなたは、ACP(人生会議)について知っていますか。

(一般)問 58、(認定者)問 22、(第2号)問 23

ACP (人生会議) について、いずれも「知らない」が最も高くなっている。

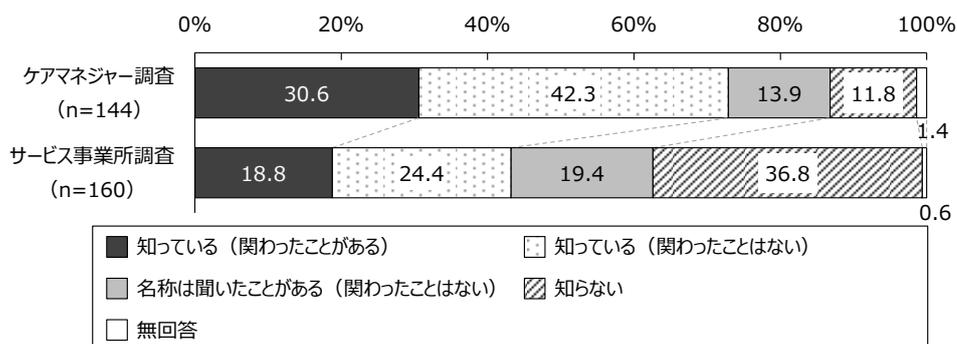
【図表 58】 ACP (人生会議) の認知度



問 あなたは、ACP(人生会議)について知っていますか。(ケアマネ)問 27、(事業所)問 30

ACP (人生会議) について、ケアマネジャーでは「知っている (関わったことはない)」が 42.3% で最も高く、サービス事業所では「知らない」が 36.8% で最も高くなっている。

【図表 59】 ACP (人生会議) の認知度



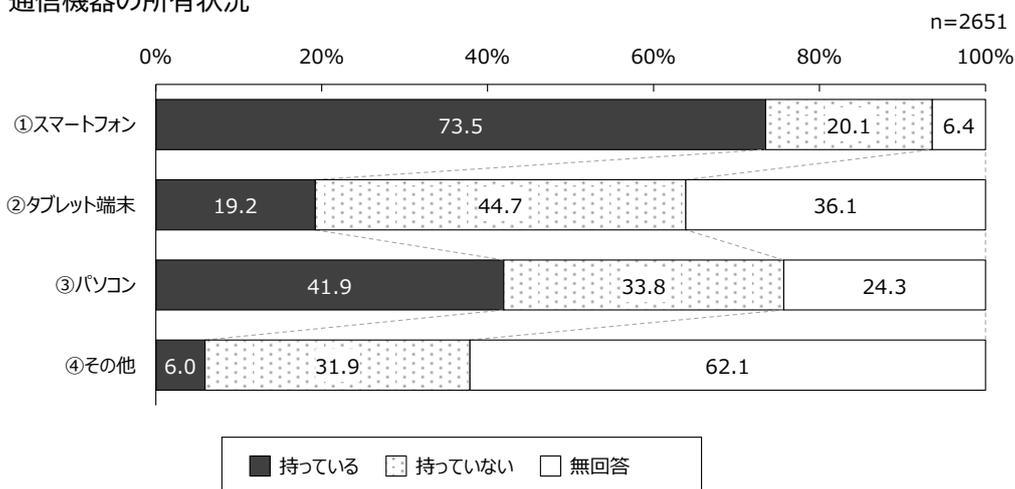
(12) 通信機器の利用状況

問 通信機器の所有状況やインターネット等の利用状況についておたずねします。(一般)問 75

(1) 所有状況

通信機器の所有状況について、「持っている」は①スマートフォンが73.5%、③パソコンが41.9%となっている。

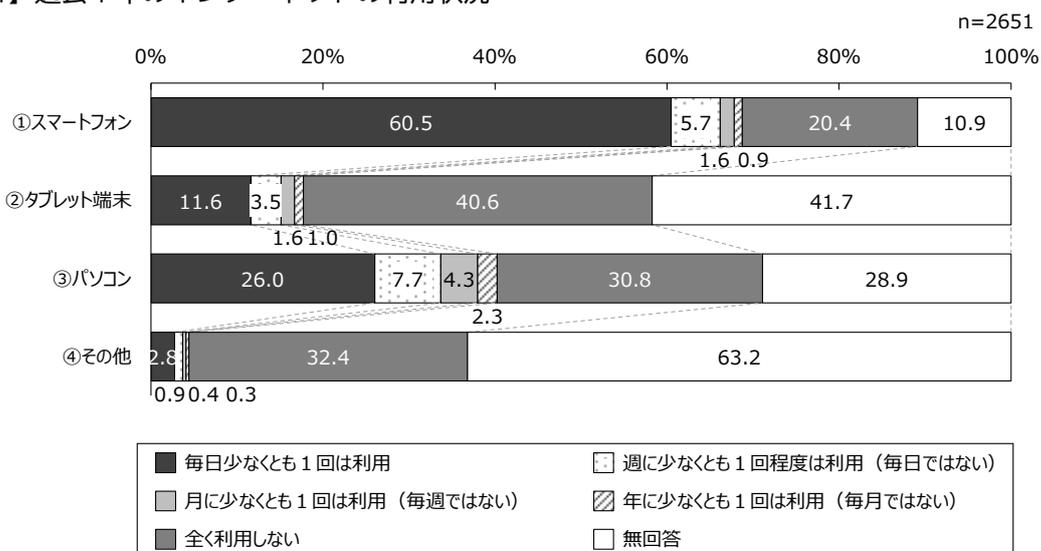
【図表 60】 通信機器の所有状況



(2) 過去1年のインターネットの利用状況

所有の状況に関わらず、過去1年のインターネットの利用状況について、「毎日少なくとも1回は利用」は①スマートフォンが60.5%で最も高くなっているが、ほかの通信機器では「全く利用しない」が最も高くなっている。

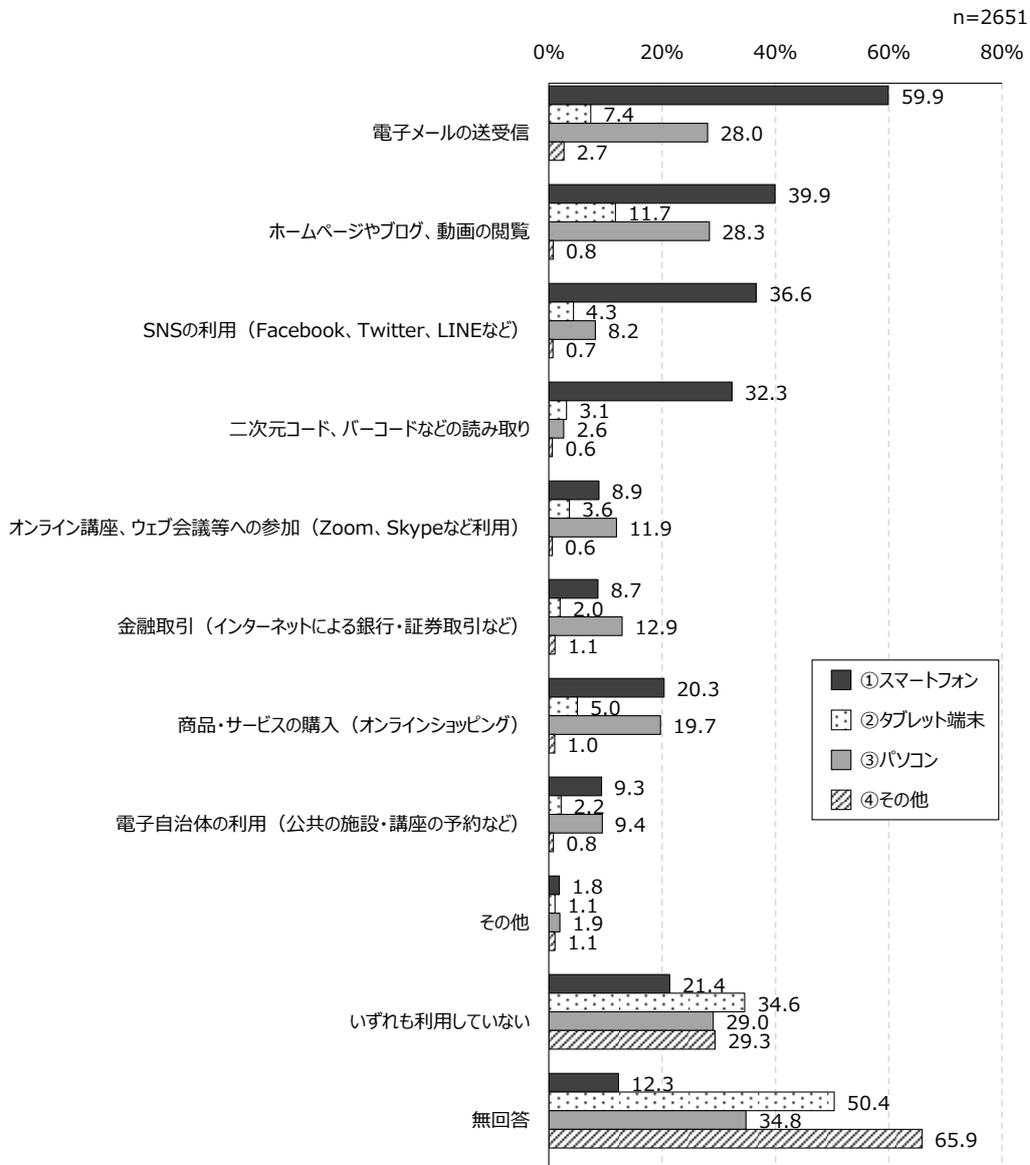
【図表 61】 過去1年のインターネットの利用状況



(3) 過去1年間に利用した通信機器を使った機能・サービス

過去1年間に利用した通信機器を使った機能・サービスについて、①スマートフォンでは「電子メールの送受信」が59.9%で最も高くなっている。

【図表 62】 過去1年間に利用した通信機器を使った機能・サービス



新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査報告書 概要版

印刷物作成番号 2022-23-2912

発行年月:令和5年(2023年)3月

発行:新宿区 福祉部地域包括ケア推進課

〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号

電話:03-5273-4193(直通)

F A X:03-6205-5083

※この印刷物は、業者委託により200部印刷製本しています。その経費として、1部あたり176円(税込み)がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送経費などは含んでいません。